

研修事例

後継者育成

支援先

笠間焼産地

笠間焼後継者育成研修

【内 容】

本研修は、県内工芸陶磁器業界の後継者の確保・技術水準の向上を図る目的で実施しています。平成 28 年度「笠間陶芸大学校」開校に向けて、第一線で活躍する陶芸作家 2 名を特任教授として迎え、プレカリキュラムを試行しました。試行したカリキュラムにおいて、第 32 回長三賞常滑陶芸展に、2 年生の実習制作が入選しました。

表 1 平成27年度 研修内容

課 程		人 数	期 間	内 容
成形	基礎コース	11名	2年制	手びねりやタタラ、ロクロ、石膏型による成形技術や絵付けによる加飾技法など基礎技術の研修
	実践コース	1名	1年制	商品企画，開発を中心に学ぶ研修
	受入れ研修	1名	1年制	ロクロ成形を中心とした基礎技術の研修
釉薬	基礎コース	2名	3ヵ月制	釉薬原料・ゼーゲル計算等の釉薬基礎を学ぶ研修
	実践コース (基礎コース修了者)	1名	9ヵ月制	釉薬開発手法を学ぶ研修

今年度は、延べ 8 名が修了予定です。昭和 35 年(1960 年)から平成 27 年(2015 年)までの計 55 年間で累計 801 名が修了しています。笠間市周辺で工芸陶磁器業を営む人たちの約 6 割が研修修了者で、地場産業の後継者育成に貢献しています。



図 1：特別講座(陶芸論)



図 2：ワークショップ(磁器)



図 3：ワークショップ(釉薬)



図 4：加飾講座(デッサン)



図 5：薪窯実習



図 6：特任教授授業風景



図 7：特任教授授業風景



図 8：オープンキャンパス風景

本研修を強化する目的で全国区レベルの講師を招へいし、現代陶芸に必要な知識を身につける特別講座(座学)(図 1)，ワークショップ(参加型講座)(図 2・3)，地元陶芸家による実習指導(図 4・5)などの講座を開催しました。特別講座・ワークショップでは陶芸従事者の参加もあり、産地従業者の技能向上にも貢献しました。また、大学校開校に向けての PR に、オープンキャンパス(8/22・10/10)(図 8)を 2 回開催、計 62 名の参加がありました。

基礎となった事業

平成 27 年度 人材育成事業（笠間陶芸大学校開設準備等事業費）

現在の担当部門

工芸技術部門

部 門 長

尾形 尚子

TEL：0296-72-0316

特 任 教 授

佐藤 雅之

特 任 教 授

五味 謙二

主任研究員

常世田 茂

主任研究員

久野 亘央

嘱 託

佐藤 剛

材料技術部門

主 任

吉田 博和